

全鉄連流通動態調査結果表 平成26年9月分

(26.10.29)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		8月実績	前月比	9月実績	前月比	9月実績	前月比	9月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	9,732	99.7%	63,122	106.9%	62,547	105.8%	10,307	105.9%	
	大阪	6,749	108.5%	26,692	105.7%	27,019	109.3%	6,422	95.2%	
	愛知	7,559	100.9%	2,760	128.1%	3,376	161.5%	6,943	91.9%	
	計	24,040	102.4%	92,574	107.1%	92,942	108.2%	23,672	98.5%	
鋼	山形鋼	東京	19,222	96.7%	11,415	149.7%	10,689	129.1%	19,948	103.8%
		大阪	22,054	103.4%	10,737	105.6%	11,056	117.2%	21,735	98.6%
		愛知	12,684	101.5%	6,117	106.3%	6,529	117.2%	12,272	96.8%
		計	53,960	100.5%	28,269	120.1%	28,274	121.4%	53,955	100.0%
	溝形鋼	東京	16,979	99.1%	8,008	135.2%	6,958	114.5%	18,029	106.2%
		大阪	13,117	95.8%	7,772	134.6%	7,209	113.6%	13,680	104.3%
		愛知	8,235	97.1%	4,932	114.4%	5,058	111.0%	8,109	98.5%
		計	38,331	97.5%	20,712	129.4%	19,225	113.2%	39,818	103.9%
	H形鋼	東京	29,959	96.8%	16,302	105.2%	17,450	105.9%	28,811	96.2%
		大阪	40,367	102.2%	29,785	116.3%	28,985	117.1%	41,167	102.0%
		愛知	23,634	97.9%	12,896	115.1%	12,823	109.5%	23,707	100.3%
		計	93,960	99.3%	58,983	112.7%	59,258	111.9%	93,685	99.7%
合 計		186,251	99.3%	107,964	117.5%	106,757	114.5%	187,458	100.6%	
コ ラ ム	東京	8,391	96.1%	2,759	124.4%	2,806	109.9%	8,344	99.4%	
	大阪	7,851	102.6%	5,624	152.3%	5,284	151.2%	8,191	104.3%	
	愛知	2,272	95.0%	2,473	109.5%	2,442	102.6%	2,303	101.4%	
	計	18,514	98.6%	10,856	132.9%	10,532	125.0%	18,838	101.8%	
軽量C形鋼	東京	3,869	99.5%	2,583	118.9%	2,582	117.8%	3,870	100.0%	
	大阪	3,804	103.8%	2,402	121.9%	2,433	133.0%	3,773	99.2%	
	愛知	2,707	101.5%	1,222	105.1%	1,335	118.9%	2,594	95.8%	
	計	10,380	101.6%	6,207	117.0%	6,350	123.4%	10,237	98.6%	
総 計		239,185	99.6%	217,601	113.4%	216,581	112.4%	240,205	100.4%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京32 大阪21 愛知15 合計68社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キー須トンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連竜津動態調査」と呼称変更した。これは調査機械である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。